

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アサヒ飲料株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1
本票作成	部署名： 岡山工場		
主たる業種	分類コード 10	業種名 飲料・たばこ・飼料製造業	
事業の概要	乳酸菌飲料・清涼飲料製造業、生産液量181,870KL、従業員数199名(令和5年3月末時点)		
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県総社市真壁800
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、クワン250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)		

温室効果ガス排出量	基準年度(令和 元 年度)	(令和 4)年度排出量	目標年度(令和 6 年度)
	15,047 t CO ₂	10,442 t CO ₂	14,310 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4)年度排出量
	①	岡山工場	10,442 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	29.4 %	4.9 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産液量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4)年度	目標年度
		81.300 kg CO ₂ /(kL)	57.415 kg CO ₂ /(kL)	77.300 kg CO ₂ /(kL)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

基準年度の前単位に対して29.4%の削減となり、目標年度の前単位についても下回る結果となった。大きな変化としては本社方針に基づく電力購入先の変更に伴い、CO₂排出係数が改善した影響があげられる。(0.000460t-CO₂/kWh→0.000299t-CO₂/kWh) 当該影響を除いても前年比約4%の削減が来ているため、昨年度から開始した省エネ施策についても予定通りに十分な効果を発揮していると考えられる。

【推進体制】

- ・工場長を環境管理責任者におき、ISO14001事務局を設置し、工場全体の活動として省エネ活動を推進している。(ISO14001_2015年版認証取得)
- ・四半期毎の頻度で環境管理委員会、月毎の省エネ委員会を開催し、原単位削減目標に対する進捗状況を確認している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(令和4年度実施分) ・PETライン水滴除去用エアのブロー化による電力使用量削減(CO2削減量32t/年) ・冷水冷凍機出口温度見直しによる電力使用量削減(CO2削減量30t/年) ・ブライン冷凍機出口温度見直しによる電力使用量削減(CO2削減量16t/年) ・工場内照明LED化による電力使用量削減(CO2削減量9t/年) ・嫌気ボイラー有効活用による蒸気使用量削減(CO2削減量6t/年) (今後実施予定分) ・炭酸製品の糖蜜殺菌廃止による蒸気使用量削減(CO2削減量2t/年) ・洗浄工程の頻度見直しによる蒸気使用量削減(CO2削減量2t/年) ・調合工程蒸気ドレン回収による蒸気使用量削減(CO2削減量6t/年) ・冷凍機及びコンプレッサー用ドライヤー運転制御変更による電力使用量削減(CO2削減量14t/年) ・コンク製品パストライザー循環水冷却温度見直しによる電力使用量削減(CO2削減量9t/年) ・製造工程照明および空調の運用見直しによる電力使用量削減(CO2削減量6t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	森林保全を目的に高梁市にて植樹活動の取組みを実施。植樹活動、植林地での草刈り活動を実施。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	関西電力からの購入電力について、RE100を指定(令和4年度4月～)
その他	無	

【その他特記事項】

- ・冷暖房設備の電力使用量低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる。